

骨粗しょう症リエゾンサービス始動

地域連携・患者支援センター 事務職 やなぎだ ゆうた 柳田 悠太

日本では超高齢社会に伴い骨粗しょう症の方が増大しております。一般の方に比べると転倒など軽微な衝撃でも骨折の危険が増してしまいます。

骨折が原因でADL（日常生活動作）の低下を招き、日常生活の行動範囲が限られてしまうという悪循環になりかねません。

当院では「骨粗しょう症の予防と改善、骨折の防止」を目的として、骨粗しょう症リエゾンサービスを立ち上げました。骨粗しょう症の適切な治療と、治療を継続できるように患者さまにはたらきかけることを目指しております。また、退院後、再びどこかを骨折しないように多職種で介入し、『二次骨折予防』の取組みも行っています。

整形外科/人工関節センター長 竹下医師とリエゾンマネージャーの薬剤師をはじめ、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、放射線技師、ソーシャルワーカー、事務職など多職種でチーム構成されています。

リエゾンとは、フランス語で「仲介、つなぎ、橋渡し」を意味する言葉です。今回のサービスでは、骨粗しょう症の治療におけるコーディネーターの役割を意味します。地域の医療や福祉とシームレスな連携を図り、患者さまが元気になって地域にお戻りいただけるようにサポートをしております。

